

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人富山大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第55条の規定に基づき、富山大学大学院持続可能社会創成学環（以下「本学環」という。）に関し、必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第2条 本学環は、持続可能な社会の構築に必要な理工学及び社会科学の学際的な理論及び学際的応用を教授研究し、その深奥を学び、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識、卓越した能力及び倫理観を培い、持続可能社会の構築に貢献する人材の育成を目的とする。

2 次条第1項に掲げるプログラムの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別表第1のとおりとする。

(プログラム)

第3条 本学環に、次の各号に掲げるプログラムを置く。

- (1) 社会データサイエンスプログラム
- (2) グローバルSDGsプログラム

2 学生は、前項に掲げるプログラムのうち、いずれか一つを専攻するものとする。

(教員組織)

第4条 本学環に教員組織として教員部を置く。

(授業科目及び単位数)

第5条 本学環の教育課程は、本学環が開設する授業科目（学環共通科目及び学環専門科目をいう。以下「学環科目」という。）及び大学院共通科目（富山大学大学院共通科目履修規則第3条第1項に規定する授業科目をいう。以下同じ。）により編成する。

- 2 学環科目及び単位数は、別表第2、別表第3-1及び別表第3-2のとおりとする。
- 3 大学院共通科目については、富山大学大学院共通科目履修規則の定めるところによる。
- 4 学環科目の配当及び授業時間は、毎学年の始めにこれを定める。
- 5 学環科目の1単位当りの授業時間は、次の基準による。
  - (1) 講義は、15時間の授業をもって1単位とする。
  - (2) 演習は、15時間又は30時間の授業をもって1単位とする。
  - (3) 実験及び実習は、30時間又は45時間の授業をもって1単位とする。

(指導教員)

第6条 本学環の長（以下「学環長」という。）は、学生の授業科目の履修及び研究等を指導するために、富山大学大学院持続可能社会創成学環委員会（以下「委員会」という。）の意見を聴いて、学生ごとに主指導教員及び副指導教員をそれぞれ定める。

2 主指導教員及び副指導教員となることができる者については、別に定める。

(履修方法)

第7条 学生は、指導教員の指導を受け、履修しようとする学環科目を定め、指定の期日までに学環長に届け出なければならない。

2 学生は、履修しようとする学環科目の履修を変更するとき又は取りやめるときは、指定の期日までに学環長に届け出なければならない。

(長期にわたる教育課程の履修)

第8条 学環長は、大学院学則第25条に定める長期にわたる教育課程の履修については、学環に入学する予定である者又は学生からの申請に基づき、委員会の意見を聴いてこれを認めることができる。

(他の研究科等又は学部の授業科目の履修等)

第9条 学生は、主指導教員の許可を得て、他の研究科及び学環の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により履修した授業科目の修得単位は、委員会の意見を聴いて、学環長は第15条に規定する修了に必要な単位に含めることができる。

3 指導教員が必要と認めるときは、学生は、本学の学部の授業科目を履修することができる。ただし、この場合において修得した単位は、前項に規定する単位に算入しない。

(他の大学の大学院における授業科目の履修等)

第10条 本学環において教育上有益と認めるときは、委員会の意見を聴いて、学生が他の大学の大学院（外国を含む。）の授業を履修することを認めることができる。

2 前項の規定により履修した授業科目の修得単位は、委員会の意見を聴いて、学環科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(単位の認定)

第11条 学生が履修した学環科目の単位の認定は、筆記若しくは口頭の試験又は研究報告等により、学環科目を担当する教員が行う。

2 前項の認定を行う時期は、各タームの末とする。ただし、特別の理由があるときは、その時期を変えることができる。

(成績評価)

第12条 学環科目の成績評価は、秀、優、良、可及び不可の評語で表し、秀、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。

2 成績の評語は、100点を満点とし、次のとおりとする。

秀 90点以上

優 80点以上90点未満

良 70点以上80点未満

可 60 点以上 70 点未満

不可 60 点未満

- 3 第 1 項の規定にかかわらず、学環科目によっては、秀、優、良、可及び不可の評語によらずに、認、合格及び不合格の評語を用いることができる。

(学位論文の提出)

第 13 条 学生は、あらかじめ指定する期日までに学位論文（大学院学則第 37 条第 1 項に規定する特定の課題についての研究の成果を含む。以下同じ。）を提出しなければならない。

- 2 学位論文は、修了に必要な単位を修得又は修得見込みで、かつ、必要な研究指導を受けた者でなければ提出することができない。

(学位論文の審査及び試験)

第 14 条 学位論文の審査及び試験については、国立大学法人富山大学学位規則の定めるところによる。

(課程の修了要件)

第 15 条 修士課程の修了要件は、この課程に 2 年以上在学し、別表第 4 に掲げる所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、この課程に 1 年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 第 8 条により長期にわたる課程の履修を認められた者の修士課程の修了要件は、当該履修期間を在学し、別表第 4 に掲げる所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格することとする。
- 3 前 2 項の場合において、学環において適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

(再入学及び転入学の場合の取扱い)

第 16 条 学環長は、大学院学則第 21 条の規定により入学した者が既に修得した授業科目、単位及び在学年数の取扱いについては、委員会の意見を聴いて決定するものとする。

(その他)

第 17 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は委員会の意見を聴いて、学環長が別に定める。

附 則

この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1 (第2条第2項関係)

プログラム	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
社会データサイエンスプログラム	現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことで課題発見・解決を行うとともに、そこから新しい価値を創造して地域活性化やSDGs達成に貢献できる人材を育成する。
グローバルSDGsプログラム	持続可能な社会を構築するために解決が必要な諸課題について、自らが新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力とグローバルに活躍するための基礎となる英語力を身に付け、社会が直面する様々な課題に新たな解決策を示すことができる人材を育成する。

別表第2 (第5条第2項関係) 学環共通科目及び単位数

学環共通科目	開設 単位	備考
○持続可能社会創成学概論	1	○印は必修科目
文化の多様性と持続可能社会	1	
サステイナビリティ環境科学	1	
サステイナビリティ国際政治経済学	1	
デザイン思考	1	
アントレプレナーシップ論	1	
インターンシップ	1	

別表第3-1 (第5条第2項関係) 学環専門科目 (社会データサイエンスプログラム) 及び単位数

科目区分	学環専門科目	開設 単位	備考
基盤科目	○線形代数特論	1	○印は必修科目
	○数理統計学特論 I	1	
	○数理統計学特論 II	1	
	○情報科学特論	1	
	○サイバーフィジカルシステム特論	1	
	○情報センシング特論	1	
実践科目	最適化問題特論	1	
	時系列解析特論	1	
	確率過程特論	1	
	機械学習特論 I	1	
	機械学習特論 II	1	
	空間統計特論 I	1	
	空間統計特論 II	1	
	テキストマイニング特論	1	
	計量経済学特論 I	1	
	計量経済学特論 II	1	
	社会データサイエンス特論演習 A	1	
	社会データサイエンス特論演習 B	1	
ドメイン科目	<b>【都市デザイン学系】</b>		
	都市・地域計画特論	1	
	持続可能な社会に資する交通特論	1	
	自然災害学特論	1	
	災害情報学特論	1	
	数値シミュレーション特論	1	
	都市・建築環境特論 I	1	
	都市・建築環境特論 II	1	
	都市・建築設備特論 I	1	
	都市・建築設備特論 II	1	
	<b>【社会科学系】</b>		
	地域社会学特論 I	1	
	地域社会学特論 II	1	
	経営学特論 I	1	
	経営学特論 II	1	
	現代経済理論特論 I	1	
	現代経済理論特論 II	1	
応用計量経済学特論 I	1		

	応用計量経済学特論Ⅱ	1	
	金融の計量経済分析特論Ⅰ	1	
	金融の計量経済分析特論Ⅱ	1	
	数理計画法特論Ⅰ	1	
	数理計画法特論Ⅱ	1	
	財政学特論Ⅰ	1	
	財政学特論Ⅱ	1	
	社会調査法特論Ⅰ	1	
	社会調査法特論Ⅱ	1	
	オペレーションズ・リサーチ特論Ⅰ	1	
	オペレーションズ・リサーチ特論Ⅱ	1	
特別研究	○社会データサイエンス特別演習Ⅰ	1	○印は必修科目
	○社会データサイエンス特別演習Ⅱ	1	
	○社会データサイエンス特別研究Ⅰ	1	
	○社会データサイエンス特別研究Ⅱ	1	

別表第3-2 (第5条第2項関係) 学環専門科目 (グローバルSDGsプログラム) 及び単位数

科目区分	学環専門科目	開設 単位	備考
基盤科目	○サステナビリティ環境理学基礎	1	○印は必修科目
	○サステナビリティ経済学基礎	1	
	○アカデミックライティング・コミュニケーション特論	1	
	○サステナビリティデータ解析・GIS演習	1	
実践科目	持続可能性・政治・法律	1	◎印は選択必修 科目
	サステナビリティ法政策学	1	
	移民研究特論	1	
	境界研究特論	1	
	経営学特論Ⅰ	1	
	経営学特論Ⅱ	1	
	グローバリゼーション特論Ⅰ	1	
	グローバリゼーション特論Ⅱ	1	
	財政学特論Ⅰ	1	
	財政学特論Ⅱ	1	
	国際私法特論Ⅰ	1	
	環境産業特論Ⅰ	1	
	環境産業特論Ⅱ	1	
	気候変動解析学	1	
	水環境計測特論Ⅰ	1	

水環境計測特論Ⅱ	1
水環境計測特論Ⅲ	1
水環境計測特論Ⅳ	1
化学海洋学	1
火山地震化学	1
サステナビリティ物理学特論：エネルギーと計測技術	1
植物生態学特論	1
保全生物学特論	1
植物生産学特論	1
総合病害虫管理学	1
◎グローバルSDGs海外実践実習	2
◎グローバルSDGs海外英語実習	2
◎高低差4000mの共生社会実習	1
◎短期SDGsインターンシップ	1
環境法ゼミナール	1
国際環境法ゼミナール	1
環境政策学ゼミナール	1
産業法・特許制度ゼミナール	1
移民研究ゼミナールⅠ	1
移民研究ゼミナールⅡ	1
境界研究ゼミナールⅠ	1
境界研究ゼミナールⅡ	1
財政学ゼミナールⅠ	1
財政学ゼミナールⅡ	1
公共経済学ゼミナールⅠ	1
公共経済学ゼミナールⅡ	1
環境産業ゼミナールⅠ	1
環境産業ゼミナールⅡ	1
環境経済学ゼミナールⅠ	1
環境経済学ゼミナールⅡ	1
組織と人材のマネジメントゼミナールⅠ	1
組織と人材のマネジメントゼミナールⅡ	1
人材開発政策ゼミナールⅠ	1
人材開発政策ゼミナールⅡ	1
国際政治学ゼミナール	1
グローバル政治経済学ゼミナール	1
地球市民社会ゼミナール	1
グローバリゼーションゼミナール	1
気候変動解析学ゼミナールⅠ	1

	気候変動解析学ゼミナールⅡ	1	
	同位体地球化学ゼミナールⅠ	1	
	同位体地球化学ゼミナールⅡ	1	
	環境化学計測ゼミナールⅠ	1	
	環境化学計測ゼミナールⅡ	1	
	水処理化学ゼミナールⅠ	1	
	水処理化学ゼミナールⅡ	1	
	水環境計測ゼミナールⅠ	1	
	水環境計測ゼミナールⅡ	1	
	土壌環境計測ゼミナールⅠ	1	
	土壌環境計測ゼミナールⅡ	1	
	化学海洋学ゼミナールⅠ	1	
	化学海洋学ゼミナールⅡ	1	
	水圏化学ゼミナールⅠ	1	
	水圏化学ゼミナールⅡ	1	
	環境物理学ゼミナールⅠ	1	
	環境物理学ゼミナールⅡ	1	
	量子エレクトロニクスゼミナールⅠ	1	
	量子エレクトロニクスゼミナールⅡ	1	
	植物生態学ゼミナール	1	
	森林生態管理学ゼミナール	1	
	高山生態学ゼミナール	1	
	保全生物学ゼミナール	1	
	作物遺伝学ゼミナールⅠ	1	
	作物遺伝学ゼミナールⅡ	1	
	植物分子遺伝学ゼミナールⅠ	1	
	植物分子遺伝学ゼミナールⅡ	1	
	共生機能科学ゼミナールⅠ	1	
	共生機能科学ゼミナールⅡ	1	
	総合病害虫管理学ゼミナールⅠ	1	
	総合病害虫管理学ゼミナールⅡ	1	
特別研究	◎先端研究トラック サステイナビリティ先端研究Ⅰ サステイナビリティ先端研究Ⅱ サステイナビリティ先端研究Ⅲ サステイナビリティ先端研究Ⅳ サステイナビリティ先端研究Ⅴ ◎実践研究トラック サステイナビリティ実践研究Ⅰ サステイナビリティ実践研究Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2	◎印は選択必修 科目 (先端研究トラ ック又は実践研 究トラックのい ずれかを選択)



別表第4（第15条第1項及び第2項関係）

プログラム	大学院共通科目	学環共通科目	学環専門科目
社会データサイエ ンスプログラム	必修科目 2 単位 選択科目 2 単位以上	必修科目 1 単位 選択科目 3 単位以上	必修科目 基盤科目 6 単位 特別研究 4 単位 選択科目 実践科目から 8 単位以上 ドメイン科目から 4 単位以上
グローバル S D G s プログラム	必修科目 2 単位 選択科目 2 単位以上	必修科目 1 単位 選択科目 3 単位以上	必修科目 基盤科目 4 単位 選択科目 次の選択必修科目を含む 18 単位 以上 ・ 実践科目のうち◎から 1 単位 以上 ・ 特別研究のうち◎の先端研究 トラック合計 10 単位又は実践 研究トラック合計 4 単位